

鹿折地区災害公営住宅建設工事の入札不落到る対応について

1 経過等について

気仙沼市がUR都市機構と譲渡契約を締結している鹿折地区災害公営住宅について、UR都市機構が行った建設工事は入札の結果不落となりました。

工事概要及び入札不落までの経過は以下のとおりです。

【工事概要】

災害公営住宅 鉄筋コンクリート造4～5階建て 8棟 284戸

建築面積5,801㎡ 延べ床面積21,970㎡

(仮称)市民福祉センター併設

附属施設（集会所、高齢者生活相談室、倉庫、駐車場等）1式

【経過】

24. 6. 27	協力協定締結
25. 2. 12	事業実施要請
26. 3. 12	譲渡契約締結（議会議決日）
26. 5. 14	公募開始
26. 7. 31	開札 応札者 清水建設(株) ※1社のみ 開札結果 不落

2 今後の対応について

入札においては、予定価格と入札額に1割程度の差があり、不落の要因についてUR都市機構が応札者から見積もり内訳のヒヤリング等を行った結果、主要部材であるプレキャストコンクリート（PC）工場における製作費や内装工事に係る資材・労務費の高騰が主な要因となっています。

このことから、建設費増加に伴う予算の確保について、復興庁等関係機関と協議を行うとともに設計・仕様の見直しによるコストダウンを進めています。

復興交付金の増額については、現時点の標準建設費の枠内では整備が難しい状況であることから、細部にわたる工事費の比較を行うなどの調整を図りながら、第10回の交付申請に向け協議を行っております。

また、再入札にあたっては、本件がWTO（世界貿易機関）の政府調達協定の対象工事となり手続きに3ヶ月以上を要することから、早期に請負業者を決定するため、上記の予算確保等と並行して入札手続きを進め、今年12月に再入札を行いたいと考えております。

なお、完成工期については、今年12月の入札において請負業者が決定した場合、平成28年度にずれ込むことが見込まれますが、UR都市機構や請負業者と調整を図り、一日も早い完成を目指してまいります。